



天皇皇后両陛下、愛子内親王殿下 長崎行幸啓



海上自衛隊佐世保音楽隊による奉迎演奏に聞き惚れる参列者たち

両陛下のご臨場まで待機する海上自衛隊佐世保音楽隊長 長岡英幸(1等海尉)

自衛隊長崎地方協力本部は、悠久の歴史と比類なき文化を誇るわが国を次世代に引き継ぐため、陰に陽に活躍している全国の隊員が後顧の憂いなく任務を全うできるよう、今後も各課各所各センター一体となった総力戦をもって、一人でも多く隊員を獲得するとともに、円滑な再就職を一件でも多く支援していく所存です。(募集課広報班)

提灯を高らかに掲げて天皇皇后両陛下、愛子内親王殿下に対し万歳を行う参列者たち

祝賀の花火

12日夜には長崎県庁駐車場屋上広場において、提灯奉迎が盛大に実施された。長寿番組であった「日立世界ふしぎ発見!」の出演で全国的に有名な総合司会者の草野仁氏(旧満州国新京特別市生まれ、島原市出身)が司会進行役を務めたほか、県内選出国會議員や各界重鎮が名を連ねる中、海上自衛隊佐世保音楽隊長 長岡英幸(1等海尉)が奉迎演奏のため勇躍来崎、素晴らしい演奏を披露し、奉迎に集まった市民から「ブラボー!!」と賞賛の声が上がっていた。自衛隊長崎地方協力本部からも本部長をはじめとする一部有志が奉迎に参列し、天皇御一家の来崎への感謝と日本の栄光を祈念させて頂いた。天皇皇后両陛下におかれましては、14日に「ながさきピース文化祭」の開会式のため佐世保市に行幸啓あそばされ、佐世保に駐屯する陸上及び海上自衛隊部隊が「と列」にて両陛下を奉迎した。

自衛隊長崎地方協力本部(本部長 佐々木昌貴(1等海佐)は、令和7年9月12日(金)、第40回国民文化祭及び第25回全国障害者芸術・文化祭となる「ながさきピース文化祭」の開会に伴い、天皇皇后両陛下、愛子内親王殿下におかれては長崎県に行幸啓(注あそばされるにあたり、本部前道路にて奉迎を実施した。これに先立ち、両陛下の降り立られた長崎空港が所在する大村市内では、市内に駐屯する陸上及び海上自衛隊の部隊が「と列」により奉迎を実施した。出島道路のトンネルを抜けて御料車の車列が長崎市街に現れると、天皇皇后両陛下と愛子内親王殿下をお慕いする市民から熱烈な歓迎の声が響きわたり、天皇皇后両陛下、愛子内親王殿下は沿道の市民へ笑顔をお見せになられ、お手を振って下さった。奉迎に集まった市民からは喜びと光栄との声が聞こえ、天皇御一家がいかに国民から慕われているかを改めて認識できた。

注:「行幸啓(ぎょうこうけい)」は天皇陛下が皇后陛下とご一緒に外出なさることを言う。(宮内庁HPより)
 なお、両陛下と一緒に「還幸啓(かんとくけい)」と言う。天皇陛下単独で外出/お帰りになることは「行幸(ぎょうこう)」/「還幸(かんとく)」、両陛下・皇太后陛下・皇太子殿下・皇太子妃殿下以外の皇族(本件では愛子内親王殿下)が外出/お帰りになることは「お成り」/「ご帰還」と使い分ける。



発行所
 自衛隊長崎地方協力本部
 長崎市出島町2番25号
 TEL.095-826-8844



長崎地本公式 HP



長崎地本公式 X



長崎地本公式 Instagram

長崎生まれの護衛艦「やはぎ」、長崎へ堂々里帰り!



長崎生まれの護衛艦「やはぎ」を、一目見ようと駆け付けた長崎っ子達の行列

賑わいを見せる、ガラボシ大抽選会等イチオシの長崎地本ブース

花束贈呈を受けた指揮官等
 中央左から 第14護衛隊司令 大樂健太郎(1等海佐)、
 やはぎ艦長 濱崎晃礼(2等海佐)、
 やはぎ先任伍長 前明力竜一(海曹長)

歓迎の挨拶を述べる、
 長崎防衛協会相談役 植松俊徳氏

自衛隊長崎地方協力本部は、今後も長崎港をはじめとする県内港湾における艦艇広報の機会を得て、県民の皆様幅広く防衛省・自衛隊にご理解を深めて頂けるよう努めてまいります。イベントをきっかけとして、魅力ある就職先の一つとして選んで頂けるように、また再就職市場において、自衛隊出身者を各企業から「検討頂けるように各課、各所、各センター」丸となって実施していく所存です。(募集課広報班)

「やはぎ」は三菱重工工業長崎造船所で建造され令和6年5月21日に就役した最新鋭艦であり、就役から東南アジア方面での海外訓練にて活躍、豪州政府が次期フリゲート選定で日独2国から決定するにあたり、勇躍豪州へ遠征してその雄姿と優れた性能を豪州政府要人に知らしめたことも重要な役割であり、八面六臂の活躍であった。就役以来多忙を極めた「やはぎ」であったが、今回ようやく長崎初入港の機会を得て、里帰りを果たすことができた。

29日(金)には長崎県内の各協力団体、報道関係者、募集対象者に対して特別公開を実施したほか、翌日30日(土)には本年1月以来となる一般公開を実施し、2,877名の方々に「乗艦頂いたほか、募集広報ブースでは毎度好評の制服試着体験のほか、第3水陸機動連隊(連隊長 高田剛一(1等陸佐))の支援を得て汎用軽機動車(バギー)を展示して子供達のみならず大人の関心も集めたほか、豪華景品を揃えてガラボシ大抽選会を開催した。会場は大いに賑わい、来場された方々には、夏休み最後の思い出として大いに楽しんでいただいた。

国家を守る、
 公務員。
 自衛官募集集中





海自佐世保基地・立神岸壁にて、護衛艦「みくま」へ乗艦する参加者たち



空自築城基地にて、F-2戦闘機をバックに隊員と記念撮影



護衛艦「みくま」艦内にて海軍カレーを喫食する参加者たち

三自衛隊統一募集広報 POWER ADVENTURE

F-4EJ改戦闘機(除籍済)と共に記念撮影する参加者たち



自衛隊長崎地方協力本部(本部長 佐々木昌貴1等海佐)は夏季統一広報に伴い令和7年7月24日(水)から8月5日(火)の期間中、西部方面総監部が実施する三自衛隊統一募集広報(パワーアドベンチャー)に参加し、募集対象者延べ90名の見学を実施した。本イベントは、高校生等の募集対象者に陸海空自衛官の姿とその部隊を見学し、自衛隊への理解と興味を深めていただくとともに、自衛隊への入隊意欲を高めてもらうことを目的として毎年実施されている。

7月24日(水)は海上自衛隊佐世保基地で護衛艦を見学し、7月29日(火)には海上自衛隊鹿屋航空基地の見学を実施した。8月4日(月)・5日(火)の各日、航空自衛隊築城基地及び陸上自衛隊飯塚駐屯地をそれぞれ見学した。また、佐世保基地では護衛艦「みくま」、「のしろ」で艦内見学、鹿屋基地では航空機の見学や操縦シミュレーション等を体験し、芦屋基地及び飯塚駐屯地では、F-2戦闘機、16式機動戦闘車などの空自及び陸自の主力装備品を見学し、それぞれの駐屯地・基地で体験喫食を実施した。陸海空自衛隊の代表的な装備品を見学した参加者からは「陸上自衛官になりたい。」「護衛艦、戦闘機などの普段見学できない装備品を見学でき、さらに興味を持てた。」「などの自衛隊に対する関心度の高い感想が聞かれた。

自衛隊長崎地方協力本部は、こうしたイベント等を通じて長崎県内の多くの若者に自衛隊に対する理解と興味を深め、自衛官志願の増加に繋がるよう引き続き積極的な募集広報活動に努めてまいります。(募集課広報班)

また、夏季統一広報の一環として海上自衛隊第22航空群(群司令 行松栄治海将補)の計画により「青少年広報」が8月6日(水)・7日(木)に大村航空基地で実施され、募集対象者4名が参加したほか、「陸自EXPO2025」を8月23日(土)に陸上自衛隊大村駐屯地において実施し、募集対象者14名が参加した。本イベントは、自衛隊長崎地方協力本部が企画し大村駐屯地の協力を受け、大村駐屯地を1日に渡り見学し装備品に触れ歴史を学び、より自衛隊に対する理解と興味を深めてもらうためのイベントである。当日は、第16普通科連隊(連隊長 土肥崇記1等陸佐)をはじめ第4施設大隊(大隊長 富宿剛2等陸佐)の支援の下、多数の車両展示や高機動車の体験試乗、体験喫食、資料館見学を通じた駐屯地歴史教育などを実施した。



陸自大村駐屯地における「陸自EXPO2025」にて、普通科及び施設科の車両と記念撮影する参加者たち



体験喫食で健康に配慮された食事を摂る募集対象者たち



航空機火災対応の消防車に試乗する募集対象者たち



基本教練の訓練を受け、見違えるほどの所作を見せる募集対象者たち

自衛隊長崎地方協力本部佐世保出張所(所長 穴井俊光3等海佐)は、令和7年9月20日(土)・21日(日)に、海上自衛隊佐世保地方隊が主催した「佐世保地方隊オートムフェスタ2025」において、倉島岸壁に広報ブースを出展した。倉島岸壁エリアは業者による物販コーナーがメインであったが、佐世保出張所は自衛隊家族会佐世保地区協議会と連携しており、生憎の雨天にも関わらず今回のブースにも佐世保地区協議会主要メンバーが出展、自衛隊家族会の周知及び入会希望者への説明に備えて頂いた。佐世保出張所は募集案内のほか、部外団体「自衛隊描写研究会」と協力し、同会代表の柳内たくみ氏(氏は自衛隊OBであり「ゲート 自衛隊 彼の地にて、斯く戦えり」の作品で有名な小説家)サイン会が実施されるのに併せ、サイン会に参加した来場者に対し佐世保所広報官による募集案内を実施した。また、カプセルトイによるグッズ提供については、ハラハラ?ドキドキ!感を提供するため、カプセルの中に「大当たり(記念グッズ詰め合わせ)」を混ぜており、当たらなかった場合でも佐世保在籍艦艇及び、水陸機動団所属各部隊のロゴマーク缶バッジをお渡しできるよう、「はずれ」は無いようにしていたが、皆大当たりを引けるか一喜一憂し、ブース内では雨雲を吹き飛ばすが如き賑わいをみせていた。



来場者からの人気が高いカプセルトイ



隣接する物販ブースで実施された、柳内たくみ氏(小説家)によるサイン会

佐世保地方隊 オートムフェスタ2025



募集相談窓口にて説明中



単縦陣にて大回頭を行う艦隊

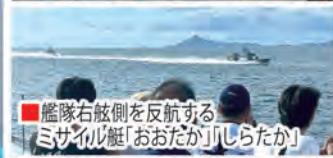
翌21日(日)は一転して晴天に恵まれ、艦艇10隻(護衛艦「ありあけ」「こんこう」、補給艦「おらみ」、輸送艦「しもきた」、掃海艇「ひらしま」「やくしま」、ミサイル艇「おおたか」「しらたか」、多用途支援艦「あまくさ」及び水中処分母船5号)及び航空機2機(SH-60Jヘリ×1機、T-5練習機×1機)による訓練展示が開催された。九州の各地本からも募集対象者等及び援護関係者に乗艦させて頂き体験航海の機会を得た。募集対象者等は輸送艦「しもきた」、援護関係者と一部の県あけにそれぞれ乗艦し、天気明朗にして波穏やかな秋のクルージングを楽しんでいた。



乗艦先の「しもきた」を背景に



固定翼機(T-5練習機)による飛行展示



艦隊右舷側を反航するミサイル艇「おおたか」「しらたか」



「しもきた」車両甲板にて、佐音による演奏披露

NBCまつり 2025



レトロな抽選器に興味深々の子供たち



制服を着用して展示車両と記念撮影をする来場者



制服を着用して展示車両と記念撮影をする来場者

自衛隊長崎地方協力本部(本部長 佐々木昌貴1等海佐)及び長崎募集案内所(所長 森田秀喜1等陸尉)は、令和7年9月13日(日)から14日(月)の2日間、出島メッセ長崎(長崎市尾上町)において実施されたNBCまつりに参加した。NBCまつりとは、長崎放送主催のイベントで、例年秋頃に「出島メッセ」などで開催され、お笑いライブ、グルメ、物販、eスポーツ、お仕事体験など、家族で楽しめる多彩なプログラムが提供される。毎年「長崎でいちばん明るいまつり」を合言葉に、多くの来場者で賑わうイベントである。

自衛隊長崎地方協力本部は、今年も広報ブースを出展し、自衛隊車両展示(1/2トトラック)、制服試着体験、ガラポン抽選会によるグッズ配布を実施した。本広報ブースでは、多くの家族連れが来訪し、制服を試着した子供達が展示車両の前に立って記念撮影をしたり車両に乘車する等、自衛隊を身近に感じていただけた。また、自衛隊長崎地方協力本部のSNSをフォローしてくれた方がガラポン抽選会に参加できる仕組みとして、豪華賞品を多数準備して臨み、この場の皆様に抽選のわくわく感を存分に味わって頂いた。主催者(長崎放送)の情報によれば、本イベントの来場者は約23,000人と昨年より約1万人増加し、自衛隊広報ブース来訪者は1,120名にのぼり、自衛隊の認知度向上につながることができた。

自衛隊長崎地方協力本部長 佐々木昌貴
案内所は、今後も長崎市内の様々なイベントに参加し、多くの若者に自衛隊に対する理解を深めて頂き、自衛隊志願者の増加に繋がるよう引き続き積極的な募集活動に努めていく所存です。
(長崎募集案内所)

対馬駐在員事務所は、今後も在島3自衛隊部隊と緊密に協力しながら、対馬市内の様々なイベントに参加し、島民の皆様に対し、これまで以上に自衛隊への理解を深めて頂けるよう努めてまいります。一人でも多くの皆様に自衛官を職業としてお選び頂けるように、引いては故郷 対馬に帰って来る定年退官者及び任期満了隊員の円滑な就職支援活動に繋がるように努めていく所存です。
(対馬駐在員事務所)

艇なつぐも」の一般公開、海上自衛隊による「南極の水」展示、陸上自衛隊による装備品(中距離多目的誘導弾)の展示が実施された。



好みの絵柄を入れ、伍パッチの作成体験を楽しむ子供達

対馬駐在員事務所と在島3自衛隊との合同による広報ブースにおいて、制服試着体験、対馬出身隊員写真パネル展示、VR体験視聴、伍パッチ作成体験、アンケート等を実施したほか、対馬海上保安部の巡視船基地に入港中のミサイル艇「しらたか」及び巡視艇「なつぐも」の一般公開、海上自衛隊による「南極の水」展示、陸上自衛隊による装備品(中距離多目的誘導弾)の展示が実施された。



対馬厳原 港まつり

自衛隊長崎地方協力本部対馬駐在員事務所(所長 小野新一郎陸曹長)は、8月2日(土)、3日(日)に対馬市厳原町で実施された「対馬厳原港まつり」において、対馬に駐屯する自衛隊部隊である陸上自衛隊対馬駐屯地(駐屯地司令 山田憲和1等陸佐)、海上自衛隊対馬防備隊(隊司令 福澤光恭1等海佐)、航空自衛隊海栗島分屯基地(基地司令 濱中良太2等空佐)と共同して、自衛隊広報ブースを出展した。



VR映像の体験視聴を楽しむ子供達



自衛官候補生口述試験 (長崎県立大学佐世保校)



一般曹候補生口述試験 (陸上自衛隊大村駐屯地)



防衛医科大学校(看護学科)筆記試験 (北九州予備校)

秋の自衛隊採用試験を 高校3年生が続々受験!

自衛隊長崎地方協力本部(本部長 佐々木昌貴1等海佐)は、令和7年9月15日(月)の令和7年度第2回予備自衛官補採用試験を皮切りに、第2回一般曹候補生、第3回自衛官候補生、海上自衛隊及び航空自衛隊航空学生、防衛医科大学校学生、防衛医科大学校学生の採用試験をそれぞれ実施した。

毎年9月の採用試験から高校3年生が受験することが可能となるため、年内で最も受験者が多い自衛隊への入口(人材採用)と自衛官の出口(就職支援)を支援することを主たる業務とする自衛隊長崎地方協力本部としても極めて重要な時期であり、募集課のみならず、総務課 援護課の支援を得て本部並びに各地域事務所等と一丸となって業務を遂行した。

一般曹候補生及び自衛官候補生の学科試験は、令和6年度から全てWEB試験にて実施されているが、各広報官による丁寧な説明・周知案内により、大きな問題もなく円滑に実施できている。最も採用員数及び受験規模が大きい志願者が最も多い受験科目である「一般曹候補生」及び「自衛官候補生」採用試験を受験する多くは、両科目を併願受験しているのが近年の特性であり、両科目の試験が終了した際は、全力でやりぬいた達成感と安堵感に満ち、会場を出る受験者たちの顔は笑顔で溢れていた。今後、11月中旬以降から第3回一般曹候補生及び第4回自衛官候補生の採用試験を実施する予定であり、更に自衛官候補生は、1月に第5回、2月に第6回の採用試験をそれぞれ実施予定である。

自衛隊長崎地方協力本部は、引き続き、自衛官を志す、或いは進路に迷っている志願者の皆さんをお待ちしています。自衛隊の魅力や待遇改善などについてご理解頂き、生涯の仕事として、あるいは第2・第3の選択肢として自衛官という職業を選んで頂けるように、最後まで総力戦で臨む所存です。(募集課募集班)

長崎県任期制隊員 合同企業説明会



説明会場における面談の様子

自衛隊長崎地方協力本部
(本部長 佐々木昌貴1等海
佐)は、9月4日(木)長崎イン
ターナショナルホテル(大村

市)において、一般財団法人自衛隊援護協会福岡支部との共催により、令和7年度長崎県任期制隊員合同企業説明会を開催した。本説明会は、長崎県内での再就職を希望する任期満了退職予定隊員を対象とし、隊員と県内企業との面接により直接企業情報等を手土産に、円滑な再就職につなげることを目的とするものである。長崎地本が行う任期制退職自衛官に対する再就職支援施策の最大のイベントで今回は24回目の開催で、陸自・海自・空自の任期満了退職予定隊員12名が希望したエントリー企業140社中、44社の企業が参加した。

また、今年の新入試みとして、就職準備を促進する目的から、陸自・海自の定年退職予定隊員等29名が研修者として参加した。参加隊員と企業の面談は、1回25分間で5回、自由面談30分間を2回実施し、隊員は希望する企業ブースを訪れ、職務内容、就業時間、賃金、福利厚生等の求人内容について説明を受けつつ疑問点を質問し、自衛官らしく節度ある態度で真剣に面談に臨んでいた。参加隊員からは「話したい企業としっかり話ができて、聞きたいこともしっかり聞けた。」「採用担当者だけではなく、現場の人の話を直接聞きたい。」等、再就職に関して前向きな意見も聞くことができた。また、企業からは「一人ひとりとゆっくりに話すことができた。」「他のイベントと比べ対応が親切だった。」と好評を得た。

自衛隊長崎地方協力本部は、引き続き任期制隊員に対する援護業務の魅力化、援護希望率の向上及び離職防止施策を含めた就職指導、職業訓練等の充実を図り、隊員が後顧の憂いなく職務に邁進できるよう就職援護希望者の希望と雇用情勢に応じた就職の援助に努めていく所存です。
(長崎地域援護センター)

奉仕活動 雲仙市橘神社における 清掃奉仕活動に協力



清掃奉仕を終え、清々しい表情で撮影に臨む清掃奉仕参加者たち

作業開始前に、参加者に作業指示を出す隊友会島原半島支部長

自衛隊長崎地方協力本部島原地域事務所(所長 野口秀貴1等陸尉)は、令和7年9月7日(日)、長崎県隊友会島原半島支部(支部長 吉岡誠一氏)の主導により、雲仙市千々石町にある「橘神社」の清掃奉仕活動に協力した。本件は、橘神社の秋季例大祭前に境内の清掃奉仕をするものであり、隊友会島原半島支部のほか、自衛隊雲仙市家族会と島原地域事務所が合同で実施した。

隊友会島原半島支部が支部活動の活性化を図るため、軍神橘中佐を祀る橘神社を綺麗にしようと支部会員だけでなく自衛隊家族会にも声掛けして実施しており、島原地域事務所も趣旨に賛同し、広報官を派遣して協力している。平成26年に開始されてから12年目に節目となる10回目の清掃奉仕を迎えた。新型コロナのため2年間実施出来なかったが、年々賛同者も増えてきており、活性化の手ごたえを感じている。清掃奉仕の前に、橘中佐の曾孫でいらっしやる橘昌樹・橘神社宮司から参加者30名全員がお祓いを頂き、本殿周りや参道口の草刈り、植木の剪定に各々汗を流した。2時間半の作業を終え、橘宮司より「皆さんのお陰で、9月16日の秋の大祭を清々しい気持ちで迎えることができます。」と丁寧なお礼の言葉を頂き、早くも次の20回目の清掃奉仕に向け、一同決意を新たにしました。(島原地域事務所)

退職予定隊員に対するインターンシップ



ハウステキボス(ハウスキーピング)



シユシユ(食品加工)

職防止を図るとともに、インターンシップ受入企業に有用性を周知することを目的とするものである。

今年、定年制の退職予定隊員27名及び任期制の退職予定隊員2名が長崎県内の運輸業等9業種17社から希望した企業の職場研修・職場体験を行った。多くの隊員が、複数の企業の職場体験等を経験するなど、今後の再就職に対する意識の高さがうかがえた。

今回のインターンシップでは、自衛官が持つ「規律」「責任感」「協調性」という強みを、各企業においても十分に活かせることが分かり、受入企業からも好評を得た。一方で、自衛隊と民間企業の働き方には違いもあるため、こうした体験の場を通じて「自分に合った仕事」を見つけられることは、参加隊員にとっても大きなメリットとなった。参加隊員からは「有意義な体験ができた」「再就職の準備の必要性が理解できた」「OB懇談で本音が聞けて良かった」「前年度に受講しなかった事を後悔」等、本事業の目的に合致する前向きな意見を聞くことができた。

自衛隊長崎地方協力本部は、引き続きインターンシップ施策の充実を図り、多くの退職予定隊員が安心して新たな一歩を踏み出せる環境づくりに努めていく所存です。
(長崎地域援護センター)

コラム 長崎くんち庭先回り



西古川町の「櫓太鼓」

新大工町の「詩舞」

10月初旬、秋の訪れとともに今年も「長崎くんち」が開催されました。長崎市民の皆様にはお馴染みですが、江戸幕府より出島の普請工事が始まった寛永11(1634)年から行われています。長崎市内の氏神である「諏訪神社」の秋季大祭であり、毎年10月7日から9日の間、街を挙げて催されるイベントです。

今年の「長崎くんち」は天候に恵まれ、3日間にわたって各踊町が華やかな演じ物「奉納踊」を披露しました。踊町は長崎市内の58か町が7つの組に区分されており、7年に1度奉納踊の当番を務めます。諏訪神社にて踊を奉納した後、神様から授かった福を他の町にお裾分けするため、当番ではない町々を回ります。これが庭先回りであり、自衛隊長崎地方協力本部が所在する出島町の庁舎前にも、各踊町の庭先回りが訪れました。太鼓や笛の音が響く中、華やかな踊りに拍手が広がり、賑やかなひと時となりました。間近で感じる笛や太鼓の響きと荒々しい男たちの力強い掛け声、勇壮な踊りや優雅な舞に、和中華の多国籍文化が共生する国際都市長崎の伝統と、今なお濃い地域住民の皆さんの絆の強さを改めて感じた、秋の長崎の風物詩でした。
(募集課広報班)



榎津町の「川船」

新橋町の「阿蘭陀万歳」

人事関連

- 転入 令和7年8月1日付
 - ◎ 第4高射特科大隊(久留米)から 本部総務課総務班長へ 1等陸尉 徳久 真吾
 - ◎ 作戦システム運用隊(入間)から 長崎地域援護センター(航空連絡幹部)へ 2等空尉 宮脇 拓巳
 - ◎ 西部方面後方支援隊(竹松)から 本部援護課へ 1等陸曹 蒲川 敏之
 - ◎ 対馬警備隊(対馬)から 本部募集課へ 2等陸曹 相馬 康弘
 - ◎ 第102高射特科隊(竹松)から 長崎募集案内所へ 2等陸曹 富岡 誠
- 転出 令和7年8月1日付
 - ◎ 第22航空群司令部(大村)から 島原地域事務所へ 吉田 禎
- 転出 令和7年8月1日付
 - ◎ 本部総務課 総務班長から 第6高射特科大隊副大隊長(郡山)へ 3等陸佐 石原 功一
- ◎ 長崎地域援護センター(航空連絡幹部)から 西部航空方面隊司令部(春日)へ 1等空尉 田中 眞一郎
- ◎ 本部援護課から 大村駐屯地業務隊(大村)へ 准陸尉 遠藤 勇二
- ◎ 本部総務課から 西部方面後方支援隊(日蓮原)へ 1等陸曹 野口 勝弘
- ◎ 内部異動 令和7年8月1日付
 - ◎ 長崎募集案内所から 本部総務課へ 陸曹長 峰松 克也
 - ◎ 本部援護課副隊長(自衛官管理係長)から 本部援護課予備自衛官管理係長へ 防衛事務官 平松 聖香
- ◎ 退職 令和7年10月31日付
 - ◎ 長崎地域援護センター 非常勤隊員 古賀 里香
- ◎ 定年退職 令和7年10月15日付
 - ◎ 本部総務課 准陸尉 石橋 鉄也
- ◎ 定年退職 令和7年11月10日付
 - ◎ 大村駐屯地援護センター 3等陸尉 斉藤 和明
 - ◎ 本部募集課 准陸尉 七種 修



永年のご活躍 お疲れ様でした